

[2015]九州大学情報統括本部年報 : 2015年度

<http://hdl.handle.net/2324/2198495>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2015, pp.1-. 九州大学情報統括本部
バージョン : published
権利関係 :



第17章 ISMS 運用事業

17.1 情報統括本部における ISMS の継続的な運用

(1) 平成 27 年度に計画した ISMS のイベントについて、次のように実施しました。

ア リスク及び機会に対処する活動計画表の作成

リスク及び機会に対処する活動計画表を作成し、平成 28 年度に予定されている情報統括本部移転を内部状況の対処すべき事項に追加しました。

イ リスクアセスメントの実施

リスクアセスメントを実施し、情報資産一覧表、情報サービス一覧表、情報サービス間連携状況一覧表、情報資産価値評価一覧表の更新を行いました。その結果に基づき、情報資産リスク識別表を作成し、情報セキュリティリスク受容基準値を超えた情報資産を特定しました。

ウ リスク対応計画策定

リスクアセスメントの結果を受け、情報セキュリティリスク受容基準値を超えた情報資産に対し、関係事業室等でリスク対応計画を策定しました。(低減 1 件, 受容 4 件)

エ 内部監査員養成研修の実施

内部監査員養成研修を実施し、新たに 9 名が内部監査員有資格者として追加されました。

オ 内部監査の実施

事業室ごとに、内部監査員による監査を行い、監査報告書及び発見事項報告書(改善が必要な事項の報告)がまとめられ、それらを基に、課題の解決策を立案・実施しました。

カ 全体説明会の実施

ISMS 適用範囲構成員に対し、ISMS マニュアルを中心とした ISMS 関連文書の変更点について説明を行いました。(開催日: 9 月 24 日, 9 月 29 日)

(2) 課題の継続的な検討, 改善

ア 課題の進捗状況

第三者認証機関による継続審査, 内部監査, マネジメントレビューでの指摘事項や課題について, 継続して検討を行い, 91 課題(平成 26 年度からの継続課題を含む。)のうち 64 課題の解決策を策定し実施しました。

(3) ISMS 文書見直し

以下の ISMS 文書の見直しを実施しました。

- ISMS マニュアル
- 組織のセキュリティ規程
- 情報の分類，媒体の取扱い及び情報の転送に関する規程・規範
- 事業従事者に関する規程
- システムの開発及び保守に関する規程・規範
- 情報セキュリティ管理継続計画に関する規程・規範
- 適合性に関する規程・規範
- 適用法令一覧

(4) 第三者認証機関による継続審査

平成 28 年 2 月に第三者認証機関による継続審査を受審し，認証登録が継続されました。また，新たに筑紫キャンパスが認証範囲に追加されました。

17.2 九州大学内での ISMS の普及促進

九州大学病院の教職員を対象とした説明会を平成 27 年 7 月および平成 28 年 1 月に実施し，ISMS の概要と導入のメリット等について説明し，情報発信及び情報提供を行いました。